

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 令和2年3月12日
調査研究事項	<p>委託研究 : 夜間中学における教育活動充実に係る調査研究</p> <p>ア. 教育課程に関すること  生徒の実態を踏まえた教育課程の充実について  学びのユニバーサルデザインの実践について</p> <p>イ. 教職員の配置・研修に関すること  生徒の困りを補うための教職員の配置について  多様な生徒の希望に応えるための教職員の資質向上について</p> <p>ウ. 環境整備に関すること  相談環境の整備を通じた相談活動の充実について</p> <p>エ. その他夜間中学における教育活動充実に関すること  体験的な活動を通じた学ぶ意欲の向上について</p>

調査研究のねらい	<p>ア．教育課程に関すること</p> <p>生徒の実態を踏まえた教育課程の充実について</p> <p>京都市立洛友中学校（夜間部）は、外国人生徒の在籍率が7割を超えており、日本語の定着が不十分な生徒が多く、中学校としての役割を踏まえつつも、日本語の定着を図ることも求められる。そのため、平成30年度から教科指導における日本語指導の教科横断学習の実践をめざし、カリキュラム・マネジメントの試行実施を進め、平成31年度の本格的実施に向けて取り組みを進めていく。</p> <p>また、形式卒業者をはじめとして、上級学校進学希望者が増加しているが、国語力の不足、学習の空白期間が存在する等、夜間中学校特有の課題が生じている。これらの課題解決に結びつけるねらいから、高校進学等に対応した学習教材の作成、効果的な進路指導のあり方などを研究する。</p> <p>学びのユニバーサルデザインの実践について</p> <p>また、学習の定着に差があるので、誰もが「わかりやすい」「楽しい」ユニバーサルデザインの授業を実践するために、既設のプロジェクター等のICT環境を用いた指導法の研究と教材の整備などを進める。</p> <p>イ．教職員の配置・研修に関すること</p> <p>生徒の困りを補うための教職員の配置について</p> <p>日本語の定着が不十分な生徒や社会への適応が必要な生徒に対して、ボランティアなどを活用し、効果的な支援を行う。</p> <p>多様な生徒の希望に応えるための教職員の資質向上について</p> <p>様々な生徒の実態に対応できるよう、校内研修会の開催、研修・研究発表への参加、他夜間中学校の視察などを行い、専門的、先進的な知識や情報を学ぶ。</p> <p>ウ．環境整備に関すること</p> <p>相談環境の整備を通じた相談活動の充実について</p> <p>困りを抱えた生徒が数多く入学する実態を踏まえ、個別の指導や困りに対応するため、相談室の環境を整備し、相談活動の充実を図る。</p> <p>エ．その他夜間中学における教育活動の充実に関すること</p>
----------	---

	<p>体験的な活動を通じた学ぶ意欲の向上について</p> <p>京都市立洛友中学校は、昼間部・夜間部で構成されており、昼間部については、不登校を経験した学齢生徒が在籍している不登校特例校である。夜間中学校と不登校特例校が一緒になった全国で唯一の洛友中学校の特色を生かし、学ぶ意欲の向上と効果的な体験活動のあり方について研究を行う。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>本年度の取組と成果</p> <p>ア．教育課程に関すること</p> <p>生徒の実態を踏まえた教育課程の充実について</p> <p>生徒間で日本語の定着程度に幅があるため、前年度までの指導の状況確認や新入学生の入学の際の資料を確認する等、学校全体で共通理解を図った。そのうえで、学級編成を行い、日本語の定着の程度が、学級・個別にあった教材を各教科作成し、学習内容を焦点化した授業を展開することで、生徒の理解にもつながった。</p> <p>さらに、補助機器（ポケトーク）を使用しながら、各教科担任が授業展開を行う工夫も実践することで、母語支援員や日本語指導教員の不足を補うこともできた。</p> <p>ユニバーサルデザインの実践について</p> <p>日本語の定着・学力の伸長を効果的に図るため、視覚を通じて学びを深める取組を進め、学習指導をはじめとしたさまざまな場面でのICT機器の活用を図った。また、カラープリンターを購入し、できるだけ生徒の理解に繋がるような教材を作成するよう工夫した。その結果として、理解だけでなく、生徒の学習意欲も向上した。</p> <p>イ．教職員の配置・研修に関すること</p> <p>生徒の困りを補うための教職員の配置について</p> <p>7月の自然体験活動など、校外で活動する場面において、ボランティアを活用し、集団での活動や昼夜間部を問わず、互いの理解を深め、学校生活を円滑に送ることができるように支援した。</p> <p>多様な生徒の希望に応えるための教職員の資質向上について</p> <p>8月に実施された全国夜間中学校研究会や日本語指導研修会への参加、12月に実施された全国夜間中学校研究大会、また</p>

，全国夜間中学校研究大会実行委員会や他の夜間中学校への視察などを通じて，夜間中学校を取り巻く環境の変化や，先進的な取組などを学ぶことで，自校の教員の資質向上を図ることができた。

ウ．環境整備に関すること

相談環境の整備を通じた相談活動の充実について

多様な生徒が在学中，相談環境を整えることで，生徒が利用しやすくなり，それぞれの困りを軽減する取り組みを進めることができた。

エ．その他夜間中学における教育活動の充実に関すること

体験的な活動を通じた学ぶ意欲の向上について

世代や国籍を超えてふれあい学びあい，学びに向かう意欲の向上や社会性などの習得を図るために，昼間部の生徒と一緒に年間8回の体操教室（ストレッチ），茶道教室などの体験的な活動を行ったり，互いの文化への理解を図るため文化行事（9月：二胡鑑賞，1月：日本文化鑑賞）を充実させた。

このように，中学校生活に潤いが得られるような体験的な活動を幅広く実施することで，学ぶ意欲を一層伸長させることができた。また，社会経験の機会や文化体験の機会により，生活に広がりを持たせることができた。